

VERITAS WORK SMART TIPS

実験データを保存・保護するということの 大切さについて

Vol. 1
2021.04

* 本内容は STEMCELL Technologies 社のウェブ記事「Work Smart Tips」の簡易訳です。

はじめに

ベリタスから、STEMCELL Technologies 社が Web で公開している「研究者の心得」、「ラボノートのまとめ方」、「学会に参加する為には」などの記事、「Smart Works」シリーズをご紹介します。少しでも皆様の研究活動の手助けとなれば幸いです。

第一回目のテーマは「実験データを保存・保護することの大切さについて」です。

研究の成果が実り、論文を書き始める段階にきている、あるいは仮説を再考していて、以前の実験の結果を参照する必要があるかもしれません。

1つだけ問題があります：そのデータはどこにありますか？



いろいろな所にデータのバックアップを取りましょう

研究に携わっている皆様は最終的に論文に取り掛かる、または自身の仮説を再考し研究成果をまとめるために、以前の実験結果を見返すことがあるでしょう。

その時、そのデータはどこにあるのでしょうか？

あなた自身やあなたの同僚が、あなたの研究の基盤となっている情報に効率的にアクセスするために、実験データを系統立てて保存することは非常に重要です。安全にデータを保管することもまた、トラブルを防ぎ、あなたの研究が終了したのちもラボメンバーが長くデータにアクセスすることができるようにするための、シンプルで賢い方法です。ここでご紹介するヒントを参考にして、研究成果を整理・保護しましょう。

共有オンラインストレージを使いましょう

クラウドやオンラインのストレージは、物理的な破損からデータを守るだけではなく複数の人とデータを共有するのにも役立ちます。またラボが資料の用紙で散らかるのを最小限にすることができます。クラウドベースのストレージの時と同様、共有オンラインストレージをセットアップして使用する時には所属機関の規則や方針に従っておこないましょう。けているとすることで、今後さらに使いやすいソフトウェアになっていくことが期待されます。

系統立った電子ファイリングシステムを作りましょう

電子書類を個人のストレージに保管する場合でも共有ストレージに保管する場合にでも、直感的で探しやすいよう構造化されたファイリングシステムを作ることは重要です。



- 系統立った論理的なルールに従ってネーミングしましょう。

(例：日付と説明的な記述的なタイトルで統一する)

- フォルダに戦略的な階層性を持たせましょう。まず広範なトピックに対するフォルダを作り、その中で特定のトピックに特化したフォルダを作ってゆきましょう。
- 変更の追跡がおこなえるように、ファイル名の最後には原稿や改訂のラベリングを入れましょう。

- 生データを無くしてしまわないように、データを解析したり操作したりする前にオリジナルファイルのコピーを作り、オリジナルだとわかるようにしておきましょう。

ラボノート、資料、プロトコルのまとめ方について

- ラボノートを整理しておくことで、以前の仕事について確認しやすくなり、また他の人があなたの研究データについてさらに情報が欲しい場合にも役に立ちます。
- ラボノートは実験ベンチやノートが破損やダメージを受けるリスクのある場所から離れた所に保管しましょう。
- ラボノートは定期的にスキャンしてPDFファイルとして保存し、セントラルドライブにも保存しましょう。
- ラボノートを防火キャビネットの中に保管することを検討しましょう。
- ノートの最初のページには目次を作り、新しいセクションを開始する時には目次を更新するようにしましょう。
- 各ページにはページ番号、記述的な説明的なタイトルを記載して目的のページや実験をすぐに参照できるようにしましょう。
- 頻繁におこなう実験には印刷可能な電子書類のテンプレートを作成し、ラボノートにそれを印刷して貼り付けられるようにしましょう。同僚の人たちと一般的なプロトコル(バッファの作り方、実験結果を記入する表など)のテンプレートを共有しましょう。



今回は「ラボノート、資料、プロトコルの整理の仕方について」をお届けします。

日本総代理店

株式会社

ベリタス

〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目10-14
住友東新橋ビル3号館5階
TEL.03-5776-0078(代) FAX.03-5776-0076
E-mail: veritas@veritastk.co.jp
<https://www.veritastk.co.jp/>